

エックス線装置備付届

1 エックス線装置の製作者名、型式及び台数

製作者名		
型式		
台数		
製造年月日	年 月 日	年 月 日
装置の種類	固定式(移動不可)・固定式(移動可能) ポータブル	固定式(移動不可)・固定式(移動可能) ポータブル
主な用途	撮影・透視・その他( )	撮影・透視・その他( )
設置時の状態	新品・中古品	新品・中古品
設置年月日	年 月 日	年 月 日

2 エックス線高電圧発生装置の定格出力

区分	管電圧	管電流	撮影時間	管電圧	管電流	撮影時間
長時間定格	kv	mA	—	kv	mA	—
短時間定格	kv	mAs	—	kv	mAs	—
	kv	mA	Sec	kv	mA	Sec
コンデンサ式 (型式: )	kv	$\mu F$	—	kv	$\mu F$	—

3 エックス線装置及びエックス線診療室の放射線障害の防止に関する構造設備及び予防措置の概要

(1) エックス線装置の放射線障害の防止に関する構造設備の概要

ア エックス線装置の共通事項

照射筒	有・無	有・無
照射野の絞り装置	円形・矩形・その他( )	円形・矩形・その他( )
線管容器及び照射筒の漏れ放射線量	接触可能表面から5cmの距離 m( $\mu$ )Gy/時間 以下 線管の焦点から1mの距離 mGy/時間 以下	接触可能表面から5cmの距離 m( $\mu$ )Gy/時間 以下 線管の焦点から1mの距離 mGy/時間 以下
総ろ過量	mm アルミニウム当量以上	mm アルミニウム当量以上

イ 透視用エックス線装置

透視用画像モニターの種類	蛍光板、テレビモニター その他( )	蛍光板、テレビモニター その他( )
警告音付タイマー	有・無	有・無
利用線すい可動絞り装置	円形・矩形・その他( )	円形・矩形・その他( )
受像器の接触可能表面の放射線量	受像器の接触表面から10cmの距離 $\mu Gy$ /時間 以下	受像器の接触表面から10cmの距離 $\mu Gy$ /時間 以下
透視の最大受像面の3cm超の接触可能表面の放射線量	受像器の接触表面から10cmの距離 $\mu Gy$ /時間 以下	受像器の接触表面から10cmの距離 $\mu Gy$ /時間 以下
被照射体周囲の散乱線防護手段	有・無	有・無

## ウ 撮影用エックス線装置

移動型、携帯型並びに手術中に使用するエックス線装置でエックス線管焦点及び被照射体から2m以上離れて操作できる	有 ・ 無 延長コード式・無線式	有 ・ 無 延長コード式・無線式
--	---------------------	---------------------

## エ 治療用エックス線装置

インターロック機能付る過板保持装置	有 ・ 無	有 ・ 無
-------------------	-------	-------

## (2) エックス線診療室の放射線障害の防止に関する構造設備の概要

1 週間の延べ撮影回数		回数	1 週間の延べ透視時間		時間	
診療施設の構造等		独立家屋( 階建て)、マンション又はアパート等の集合住宅( 階建て 階)耐火構造( )、木造、木造モルタル又はプレハブ、その他( )				
エックス線診療室の概要	形態	エックス線診療専用の室、診療室と兼用の室、手術室と兼用の室 その他( )				
	操作室	有 ・ 無				
診療室のしゃへい物の概要	区分	材 料	厚 さ	放射線防護に関する措置		
	天井					
	床					
	周囲のしゃへい物(壁を含む)	東側				
		西側				
		南側				
	北側					
	出入口の扉					
診療室の壁等の外側における最大放射線量		エックス線診療専用の室 エックス線診療兼用の室		$\mu\text{Sv}/\text{W}$ 以下 $\mu\text{Sv}/\text{H}$ 以下		
標 識 の 有 無		有 ・ 無	注 意 事 項 の 掲 示		有 ・ 無	

## (3) エックス線診療室における放射線障害の防止に関する予防措置の概要

管理区域	管理区域の境界における最大放射線量	実効線量 $\text{mSv}/3\text{月以下}$
	立入り制限措置	しゃへい物(材質等 )による区画、白線による区画 その他( )
	標 識 の 有 無	有 ・ 無
敷地内の居住区域及び敷地内の境界	人が居住する区域における最大放射線量	実効線量 $\mu\text{Sv}/3\text{月以下}$
	敷地の境界における最大放射線量	実効線量 $\mu\text{Sv}/3\text{月以下}$

その他	エックス線診療室の見取図	
	エックス線装置を使用する室のしゃへい物等の配置状況	

## (4) その他の放射線障害の防止に関する予防措置の概要

防護用具の保有状況	防護手袋 ( 対)、防護エプロン ( 人分)、ネックガード ( 個) 防護メガネ ( 個)、その他 ( )
エックス線従事者等の放射線測定器の保有状況	ポケット線量計 ( 個)、熱平衡線量計 ( 個) ガラスバッジ ( 個)、その他 (名称 数量 個)
エックス線診療等の放射線測定器の保有状況	有 ・ 無 (測定器名 数量 個)
その他の措置 (健康診断等)	

## 4 エックス線診療に従事する獣医師の氏名及びエックス線診療に関する経歴

氏 名	エックス線診療に関する経歴 (従事年数、研修受講状況等)

## 注意事項

- 1 電離放射線漏えいエックス線量測定報告書を添付すること。
- 2 エックス線診療室の平面図及び側面図を添付すること。
- 3 エックス線診療室の平面図及び側面図は、照射方向、発生管の中心から天井、床及び周囲の画壁の外側までの距離 (メートル) 並びに防護物の材料及び厚さを記入した縮図とすること。
- 4 エックス線診療室の平面図及び側面図中には、管理区域の標識等の位置を記入すること。
- 5 エックス線診療に関する経歴欄には、獣医師がエックス線診療に携わった場所、従事期間及び研修受講状況等を記入すること。

## 電離放射線漏えいエックス線量測定報告書

事業所	事業所の名称	郵便番号	電話番号
	事業所所在地		
	管理者名		

エックス線装置	製作者名			
	エックス線装置の名称		製造番号	
	エックス線管の名称		製造番号	
	用途	撮影・透視・その他( )		
	定格条件	長時間	kv	mA
	短時間	kv	mAs	
		kv	mA	Sec
	コデン式	kv	$\mu$ F	

測定	測定年月日	年 月 日	時 ~ 時	(天候)	
		温度 °C	湿度 %	(気圧) hpa	
測定	測定器	名称			
		型式	製造番号		
測定	測定条件	被写体			
記録	測定者名	免許の種類 免許登録番号 氏名	第 号	管理責任者	
	立会者				
記録	測定上の条件				

測定結果	撮影条件レンジ	kv mA		撮影条件レンジ	kv mA		撮影条件レンジ	kv mA	
		Sec	$\mu$ Sv		Sec	$\mu$ Sv		Sec	$\mu$ Sv
	測定点	測定値	算定値	測定点	測定値	算定値	測定点	測定値	算定値
	BG	$\mu$ Sv 以下		曝射回数	回				

測定機関住所 郵便番号

(電話番号)